

2021年、照明の環境が大きく変わる！

◎「水俣条約」における照明器具等の生産終了
国際条約である水俣条約により2020年12月31日をもって、水銀灯の製造・輸出入が禁止されました。

◎内閣府による新成長戦略で、LED等の次世代照明の100%化を2030年までに目指すことを発表。

◎国内メーカーは蛍光灯照明器具の生産を既に終了しています。※照明器具の寿命は本来10～15年です。外観では判断できない内部劣化が進み、故障しやすくなります（出典：日本照明工業会）。

◎蛍光灯もメーカーにて生産終了
政府の動きを見て、大手3社にて蛍光灯を生産終了しております。蛍光灯自体の生産本数も年々減少しており、益々LED化の動きが顕著となっています。

◎実際にここ1年で、ホームセンターや電気屋での蛍光灯の値段はじわじわと上がり、種類や在庫も少なくなっているのが感じられます。管理物件の中には共用部の電球が一般的な蛍光灯やツイン型のものを使用しているところも多く、今後廃盤になってしまった場合、照明器具ごと次世代照明器具へ交換せざるを得ない状況となりつつあります。

もっとも、従来の電球の形をしたLED電球も、LED照明器具も、ひと昔前までと比較すると値段も落ち着いてまいりました。これを機に交換も視野に入れて御一考ください。

水銀灯 生産終了



✕ 交換用ランプが
手に入らなくなる

LEDなど次世代照明への入れ替え目標

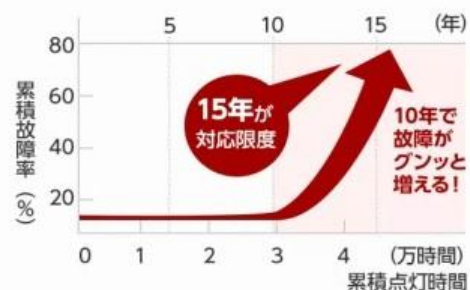


✓ 2030年までに
ストック(設置)で100%

蛍光灯器具 生産終了



✕ 買い替えることが
できない



蛍光灯 一部生産終了へ



✕ 交換用ランプが
手に入らなくなる

40形蛍光灯の生産本数



出典：経済産業省機械統計データ



(有) フロンティアホーム

文責:谷井

神戸市灘区深田町2丁目3-8-1 TEL: 078-856-8181

公益財団法人日本賃貸住宅管理協会会員